

野菜



施設栽培における省エネ対策



野菜

山下 和樹

下島営農指導センター
090-5028-9494

近年、原油価格が高止まりし、農家の経営面でも大きなウエイトを占めています。そこで、我が家でも出来ることをもう一度、見直していただければと思います。

1、ハウスの気密性を高める。

- (1) ビニールの破れや隙間を無くす。
- (2) 出入り口の内外にフィルムを張り、冷気の流入を防ぐ。
- (3) 谷部、サイドは、妻面から1.5m程度重ね代をとって、風の侵入を防ぐ。

2、多重被覆を導入する。

- (1) 可能な限り多重被覆を導入する。
- (2) カーテンが変質したり、破れたりしている場合は交換又は補修する。
- (3) 寡日照、高温、多湿対策として日中に換気や病害虫防除を行う。

3、夜間は変温管理を行う。

- (1) 夜間の設定温度は、4段サーモなどを活用した温度管理を行う。

- (2) 品質や収量に影響のない設定温度で、管理を行う。

4、暖房効率を高める。

- (1) 暖房機の熱交換面を清掃する。
- (2) 暖房機のノズルの交換、空気量の調整をする。
- (3) 温度センサー位置は生育ステージに合わせる等適切な位置に設置する。
- (4) 温風ダクトの配置は、穴の間隔、ダクト間隔を調整する等適正に配置する。
- (5) 循環扇等の利用により、温度ムラを少なくし、過剰暖房を防ぐようにする。

5、栽培管理の工夫を行う。

- (1) 整枝、誘引、摘葉等適期管理を行い、採光を図る。
- (2) 品目によって異なるが、夕方適温で、ハウスを閉めて保温する。
- (3) ハウス北側の妻面やサイド部を防寒資材で被覆する。
- (4) 節油のあまり、適温を下回る管理をしない。
※収量が上がらなくては意味がない。

果樹



11月の柑橘園管理



果樹

山下 俊二

下島営農指導センター
080-1729-1632

11月の下旬より早生温州の出荷が始まりますので、収穫前の貯蔵病害の防除をお願いします。

1. 病害虫防除

対象品種	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数		備考
				温州	中晩柑	
温州みかん	貯蔵病害	ヘフトップジン フロアブル	1,500倍	7日前まで	前日まで	1回目
		ペフラン液剤25	2,000倍	前日まで		2回目
共通	ミカンハダニ	コロマイト水和剤	2,000倍	7日前まで		発生時

2. ポンカンの着色促進及び浮皮軽減

	時期	薬剤及び希釈倍数
1回目	10月上～中旬(2～3分着色時)	サルファーソル 400倍 ジュシーカル 800倍
2回目	10月中～11月上旬(5～6分着色時)	サルファーソル 400倍 ジュシーカル 800倍

3. 河内晩柑の落果防止対策

着色が始まると河内晩柑では離層が形成され、特に大玉では落果しやすくなります。園地の状況をよく観察し、適期散布をお願いします。また、落果が心配される園地では尿素500倍を加用する事で、落果抑制を高める事ができます。(念入りに散布する事が落果させないコツ！)

時期	薬剤及び希釈倍数
10月中～11月上旬(1～2分着色時)	マテックEW 2,000倍

4. デコボン・ボンカンの水腐れ軽減対策

デコボンでは水腐れ軽減のためにジベレリンを散布し、青果率の向上を行いましょう。

また、ボンカンでも同様にジベレリンを散布する事で水腐れを軽減する事ができます。園地の状況に応じて検討を行って下さい。

水腐れ軽減の為ジベレリンを散布し、青果率の向上を図りましよう。

○ジベレリン液剤40m lの場合

対象品種	薬剤名	使用濃度	1ビン当たりの水量	実施時期	収穫前日数
ボンカン	ジベレリン液剤	0.5ppm	400ℓ	着色始期～4分着色期	21日前まで
デコボン	ジベレリン液剤	1ppm	200ℓ	着色終期	7日前まで

5. 施肥

施肥時期	品種名	肥料名	10a当たり施肥量
11月上旬	ボンカン・清見・河内晩柑 甘夏・パール柑	熊本果樹肥料10-7-4	2袋
	デコボン	熊本デコボン8-3-3 又はひのくに果樹9-3-3	2袋

6. 夏秋梢のせん定

強く伸びた夏芽や秋芽を残しておきますと、樹形の乱れやアブラムシ等の発生を助長します。強い徒長枝を中心に間引き剪定を行いましょう。